

令和3年度 第2回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和3年7月28日(水)
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20
岩見沢市コミュニティプラザ2F 会議室A
3. 出席者 審議委員総数 8名
出席委員数 5名

出席委員の氏名
 - ・岡 嘉彦
 - ・永沼 興子
 - ・木村 聡
 - ・北口 博美
 - ・畑 孝子
局側出席者
 - ・阿部 啓吉(社長)
 - ・松井 宙夢(スタッフ)
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」についての審議
5. 議事の概要(放送期間7/12~7/17)
 - (1) 局制作番組
「スクランブルニュース」
 - (2) 市民制作番組
「ステージの合間に」

6. 審議内容

(1) 「局制作番組」について

「スクランブルニュース」

取材した地元のニュースや北海道新聞から道内関係のニュースを取り上げてお送りしている。

① 事前意見回答報告

岡委員長

7月12日（月）～16日（金）の放送について

「道内ニュース、地元ニュースを道新より。2度目は新鮮さを感じないが情報としては耳から入ります。特に地元のニュースは関心を持って聴けます。」

永沼委員

7月12日（月）の放送について

「コロナで運動会が開催できるか心配された中でしたが、その中で色々工夫して開催した北真小学校の子供達の楽しそうな声が聞けました。道新ニュースは新聞をとっていない人、見逃した人には良いと思いました。特に若い世代は新聞をとっていない人が多いようです。」

木村委員

7月14日（水）、7月15日（木）の放送について

「コロナの関係のニュースとはまなす財団の農業支援、小樽での停電は火事が原因だったことなど、全国ニュースにはならない北海道らしい地方ニュースが取り上げられていました。聴いた限りでは、どのような観点でそのニュースがピックアップされたのか分かりませんでした。岩見沢の放送局なので、出来るだけ岩見沢にちなんだニュースが取り上げられた方がリスナーの関心を引き付けると感じます。確かこのコーナーは道新側が選定して、FMはまなすにニュースを提供していると理解していますが、どのようなニュース選定をするのか協議を定期的に行っているのでしょうか。」

北口委員

7月16日（金）の放送について

「いつも丁寧な話し方でとても聴きやすいと思います。道新からのニュース記事を紹介していますが、街の身近なちよつとした話題をもっと取り上げて貰えたら、市民の関心も高まると思います。」

畑委員

7月16日（金）の放送について

「釧路生まれの石黒ホームこと、現在は DCM ホーマック。660店舗展開。釧路に居た頃もよく利用しましたが、親戚でも何でもないので、やっぱり亀のご飯を買うのもコメリよりホーマックを利用しています。」

加藤委員

7月12日（月）～16日（金）の放送について

「いつも何気なく聴きながら、地元やその他のニュースや情報が入ってくるので、流れて来たらほぼ聴いています。」

② 審議

岡委員長

「では、審議を始めます。」

スタッフ松井

「内容は一日一回、昼に更新しています。道新から配信される記事を5～7本読んでおり、日々人数が変わるもの等は情報が古くなるので取り上げていません。」

岡委員長

「新聞をとらなくても、情報は分かりますよね。」

木村委員

「若い人はスマートフォンでニュースが分かる。スクランブルニュースはローカルニュースが聴けるので良いと思います。」

岡委員長

「情報が耳から入るのは良いと思います。」

永沼委員

「新聞にこんなことが書いてあったのかと改めて分かりますよね。地元のニュースのインタビューの仕方を変えた方が良いのでは？」

スタッフ松井

「指導していきます。」

北口委員

「地元のネタをもっと入れて欲しいです。身近な小さな事でも良いので。」

木村委員

「高校生とか学校関係の人にニュースを提供してもらうのは？」

スタッフ松井

「高校生がコーナー番組を放送していますが、情報提供までは至っていません。」

木村委員

「他の新聞社とは提携出来ないのですか。」

スタッフ松井

「以前は他社とも提携してニュース記事を取りあげていましたが、現在はしていません。」

岡委員長

「一人でも関心を持って貰えるような番組をお願いします。では次に進みます。」

(2) 「市民制作番組」について

「ステージの合間に」

岩見沢の文化情報等をお送りしている番組。文化活動を行っている方をゲストに迎える等、市民に広く文化情報を知って頂く事を趣旨として放送を行っている。

① 事前意見回答報告

岡委員長

「教育大の活動の頑張りや若者の元気、情熱を知ることが出来た番組。もう少し内容の整理があっても良いのでは？曲目は良かった。」

北口委員

「声も聞き取りやすく安心感があり、ゆったりとした気持ちで聴くことが出来ました。今回のゲストは教育大生で、子ども食堂を始めるといった興味深い話題でした。ただ、若い人が頑張っているのが素晴らしいという事は伝わりましたが、子ども食堂の内容や運営していく意味そのものをもっと掘り下げて欲しかったと思いました。」

畑委員

「ゲストは釧路出身の岩教大生の中里みさきさん。人つなぎという学生団体の活動の一つとして、子ども食堂をやってみたくて始めた「まんぷく食堂」。そのきっかけは、一年生の時、介護付きデイサービスのアルバイトをしたことで、障がいを持っている子供達の居場所をもっと作りたいと思った事と、元々興味があった事も。当日はお弁当50食用意する。野菜や米は近郊の農家さんが無償提供、今後も続けていきたいとの事。後半、物心ついた頃より絵が好きだったという日本画専攻の学生中里さん。コロナ禍の下、オンラインが主流だがちらほら対面授業が出来るようになってきているとの事。また、人つなぎ団体の活動もこれからも続けて行くとの事。MCの吉田さんが、笑顔が素敵でチャーミングな中里さんとのコメント。どのような絵を描いているのでしょうか。一度拝見したいなと思いました。この所岩教大の学生さんにゲストでお越しいただいていますが、一時間番組で曲が二曲でした。タイトルに「ステージ」とあるので、曲をもう数曲期待する所です。」

加藤委員

「ひとつなぎ iwamizawa の中里さんをゲストに「まんぷく食堂」や活動について興味深く聴かせてもらいました。北海道教育大学岩見沢校の学生団体の皆さんが地元の出身に関わらずに、岩見沢の事を好きになってくれ、岩見沢の街をどうにか盛り上げていきたいという想いにとっても感銘を受けました。私事ではありますが、岩見沢市内の青年団体に所属しておりますが、岩見沢の街の為に今何が出来るか、考えさせられました。岩見沢の街を盛り上げたい想いを同じくする人たちの話が聴けてとても良かったです。また、「まんぷく食堂」の事業が開催されたら、結果など聴きたいと思いました。」

② 審議

岡委員長

「若者の取り組みについて楽しそうに話していて、頑張っているなと思いました。」

北口委員

「話が長くて最後は“大学生の取り組みは凄いな”しか残らなかった。」

岡委員長

「同じような事を繰り返していて、流れが良くないと思いました。」

北口委員

「起承転結をきちんとした方が良いと思います。」

畑委員

「他の取り組みも紹介しながら話した方が良いのではないのでしょうか。音楽をもう少し取り入れた方が、区切りが付いて良いと思います。また、卒業後の活動等をフォローしてあげると良いと思います。」

木村委員

「パーソナリティーは開局当初からの方なので、慣れが出ているのかもしれませんがね。構成の工夫が必要かと思いません。」

岡委員長

「今後も是非続けていただきたいです。他に意見が無ければ終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

(1) 局制作番組

「イベント情報」

中止や変更の等の情報も取り入れるよう指導した。

(2) 市民制作番組

「ホープサインの終わらない歌」

今後も良い番組作りをお願いした。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公表方法

自社放送、ホームページ、局内設置議事録

公表内容

委員の主な意見

公表年月日

令和3年8月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。